

下水道 GX の取り組みについて

1. はじめに

恵庭市は、令和4年6月、脱炭素社会の実現に向けて、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言しました。

下水終末処理場は、本市施設の中でも多くの電力を消費する施設であり、率先して温室効果ガスの排出量を削減する必要があります。

そうしたことから、処理場内の未利用地等を活用し、民間活力による発電事業を進めて参ります。

2. 事業の枠組み

温室効果ガス排出量の削減に向けて

- 下水道施設内の空きスペース等を活用し、太陽光発電等の施設を設置
- 発電施設等は、民間事業者の費用で設置、運営
- 発生した電力は下水道施設等で購入し活用



3. 事業概要

令和5年2月に可能性調査を実施し、太陽光発電等の事業が実施可能であるとの結果により、事業者を公募し事業実施に向けて進めて参ります。

事業名：恵庭下水終末処理場オンサイト PPA 事業

事業場所：恵庭下水終末処理場、生ごみ・し尿処理場の空きスペース

事業期間：運転期間は、運転開始日から20年

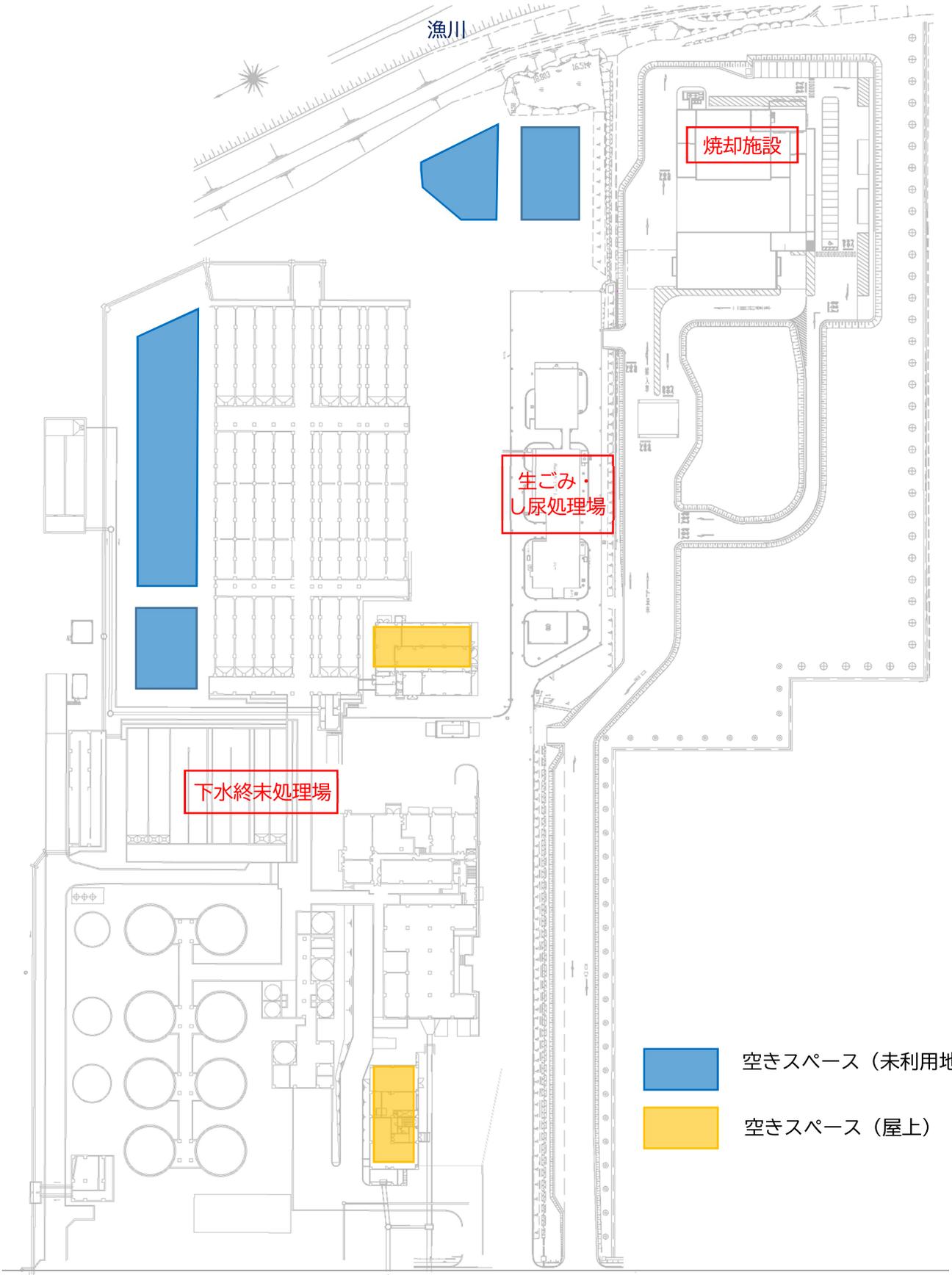
事業者：公募型プロポーザル方式により、応募者から発電方法、想定発電量、電力購入単価などの提案を受けて、優先候補者を選定します。

4. スケジュール

参加表明書提出	令和5年12月15日まで
提案書の提出	令和6年3月8日まで
<u>候補者選定</u>	<u>令和6年3月19日（予定）</u>
事業契約	令和6年3月以降
発電開始	令和7年度末までの開始を目指す

GX(グリーン転換) ~ 温室効果ガスの排出原因となっている化石燃料などから、太陽光発電などの再生可能なエネルギーに転換して、経済社会システム全体の転換を目指すこと

設置可能スペース



市道西3線